

8-4-33 自動運転WG

1. 主な活動の記録

自動運転WGでは、自動運転に関する最新動向等を収集し、建設コンサルタントとして共通に把握しておくべき事項を建コン協内で共有するとともに、社会課題解決に向け、建コンとして協調して取り組むべき事項等を明らかにすることを目的に活動を行っている。

具体的には、①先の東京オリンピックでの取り組み、②自動運転に関する現在までの取り組み経緯、③将来像の変化、④各種最新動向の把握、と言った4つの調査研究テーマを設定し、それらの整理を通じ、建コンとして取り組むべき課題等を明らかにすることとしている。

その他、関連企業等からの情報収集なども適宜行った。また、視察勉強会の実施や、有識者を招いた講習会等の実施も検討したが、昨年度に続きコロナ禍が継続する中、これらは次年度に見送ることとした。また、以上の状況を踏まえ、WG活動は全てWeb会議にて行った。

2. 実績報告

4回のWGを開催し、技術委員会、情報委員会から選出の計9名の委員により、主に以下の活動を行った。

(1) 調査研究テーマの調査推進

a) 東京オリンピックでの取り組みについて

当初、いろいろな構想があったが、最終的に行われた選手村での自動運転シャトルバス運行について調査・整理を行った。

b) 現在までの取り組み経緯の整理

現在の自動運転分野における路車協調の先駆けといえるAHS (Automated Highway System : 走行支援道路システム) や、ITS (高度道路交通システム) における開発分野の達成状況等を再度振り返り、当WGでの課題出しの参考とした。

c) 将来像の変化の整理

国等が提示している関連する4つのロードマップ (官民ITS構想・ロードマップ等) を横並

び整理し、KPIにおいて建コンが貢献できる領域を抽出する観点から整理を行った。

d) 各種最新動向の把握

以上の動向を踏まえ、自動運転に関する各種最新動向 (車、道路、歩行支援、路車協調、情報通信、地域実装/提供サービス事例、まちづくり/生活への影響等) の調査研究を行った。

(2) ダイナミックマップ基盤社との意見交換

自動運转向け高精度3次元地図の提供を行っているダイナミックマップ基盤 (DMP) 社と、同地図の自動運転での使われ方、地図整備の範囲、技術仕様、国際標準化対応、地図更新の方法、販売価格、用途別カスタマイズ、他用途での利活用展開等について意見交換を行った。

(3) 今年度活動実績

第1回WG 令和3年 8月31日 (火)

第2回WG 令和3年 10月13日 (水)

(DMP社意見交換会併催)

第3回WG 令和3年 12月8日 (水)

第4回WG 令和4年 2月8日 (火)

3. 次年度の活動について

(1) 調査研究テーマの調査推進

設定した4テーマについて引き続き調査研究を継続すると共に、変化の著しい本分野の特性を踏まえ、大テーマ並びにサブテーマの区分等は適宜見直しつつ、調査研究を機動的に進める。(以上は次年度目途にとりまとめる予定)

(2) 視察勉強会、有識者講習会等の開催

上記テーマの調査研究を進める中で、自動運転の社会実装が進んでいる地域・事例などを訪問調査し、地域実装の課題やその解決方法、成功への鍵などを探る。

また、有識者等による講習会については、政府における推進役や学識経験者、関連組織・団体における専門家等を招聘し、自動運転分野における最新動向の把握や、調査研究テーマのとりまとめにおける補遺とする。

(自動運転WG WG長 市川 博一)